特許第6900028号

国立大学法人
北海道国立大学機構

ワンストップ窓口
―お問い合わせはこちら―

発明の名称

パーキンソン病に併発した認知障害の治療剤

～認知障害（学習、記憶、理解に障害をきたしている状態）の治療剤～

発明者

石井　利明（帯広畜産大学）
木下　健一（帯広畜産大学）

技術概要

５－ＨＴ４受容体作動薬を有効成分とする、パーキンソン病に併発する認知障害の治療剤に関する発明です。５－ＨＴ４受容体作動薬には、プルカロプリド、ベルセトラグ等、及びそれら薬学的に許容可能な塩からなる群より少なくとも１つが選択されます。実施例において、プルカロプリドによる効果が実証されました。

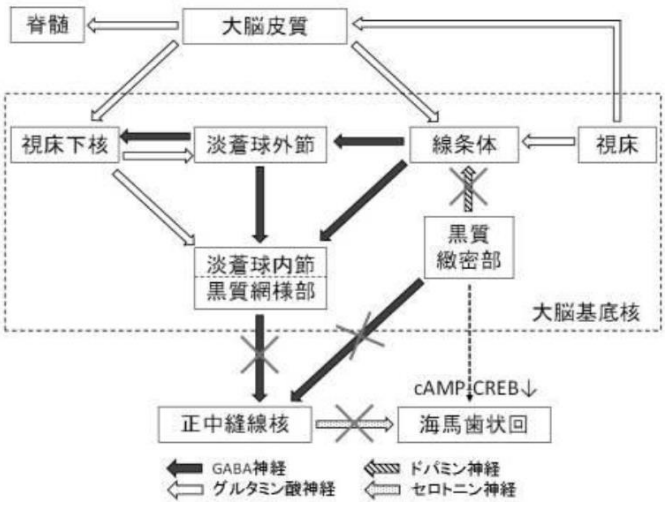
発明の目的

パーキンソン病に併発する認知障害の発症メカニズムを解明し、併発する認知障害を治療できる治療剤を提供することを目的としています。

効果

黒質ドパミン性神経細胞の変性が正中縫線核の機能低下を引き起こし、間接的に海馬に影響を与えることが明らかとなりました。５－ＨＴ４受容体作動薬が正中縫線核から海馬歯状回に投射するセロトニン神経系を刺激し、海馬歯状回におけるｃＡＭＰ濃度を上昇させることで、“パーキンソン病に併発した認知障害”に治療効果を奏することが予想され、５－ＨＴ４受容体作動薬としてプルカロプリドを用いたところ、効果が実証されました。

図面



詳細はこちら

工業所有権情報・研修館のサイトに移動します

出願・登録

出願日	設定登録日	存続期間満了日
2017/3/29	2021/6/18	2037/3/29